

製品安全データシート

会社 日本躯体処理株式会社

住所 埼玉県川口市道合 262-1

電話番号 048-229-7222 FAX 番号 048-229-7223

作成 2005年8月17日

改訂 2014年6月17日

MSDS No : 006

製品名 (化学名、商品名など) RC ガーデックス プロテクト 表面保護用

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : ナトリウムシリケート、カリウムシリケートなど
(別名 珪酸ナトリウム、珪酸ソーダ、水ガラス)
分有量 : 約 30%、 SiO_2 、 Na_2O 、 Na_2O 、 K_2O を主成分とする水溶液
化学式または構造式 : $\text{Na}_2\text{O} \cdot n\text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$ 、 $\text{K}_2\text{O} \cdot n\text{SiO}_2 \cdot x\text{H}_2\text{O}$
官報公示整理番号(化審法) : 1-508、1-459
CAS No. : 1344-09-8、1312-76-1
労働安全衛生法 : なし

危険・有害性の分類 分類の名称 : 危険有害性の分類基準に該当しない。
危険性 : 特記すべき危険性なし
有害性 : アルカリ性のため眼、皮膚等を腐食する。飲み込んだ場合には、食道、胃等の粘膜を腐食する。
アスベストは含有していない。
厚生労働省指針値 14 物質は含有されていない。
(アセトアルデヒド・フタル酸ジ-n-ブチル・p-ジクロロベンゼン・エチルベンゼン・ホルムアルデヒド・n-ナール・スフィン・テトラエタン・トルエン・o-キシレン・クロピリル・フタル酸ジ-2-エチルキシル・ダイジノン・フェルカルブ)
PRTR 法 (特定化学物質の環境への排出量の把握など及び管理の改善の促進に関する法律) に該当する成分は含有していない
環境影響 : 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律に規定する有害液体物質 (C 類物質)

応急措置 皮膚に付いた場合 : 汚染した衣類、靴等を速やかに脱ぐ。アルカリ性なので、付着部分を石鹼を使用しないで、水を流しながら皮膚に刺激やぬるぬるする感じがなくなるまで洗う。
眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 直ちに水で口の中を洗浄する。多量の水を飲ませて可能であれば吐き出させ、ただちに医師の手当を受ける。酸で中和させようとしないこと。
吸入した場合 : 水でうがいをして、空気の新鮮な場所に移動し、安静にする。様子を見て必要であれば医師の手当を受ける。

火災時の措置	消火方法	： 不燃性につき該当しない。		
	消火剤	： 不燃性につき該当しない		
	その他	： 周辺が火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所へ移動する。		
漏出時の措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏出した場所にはロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・ 作業の際には皮膚に付着したり、眼に入らないように保護具を着用する。 ・ 少量の場合にはウエス等で拭き取る。多量の場合には土嚢などで拡散防止を図ってから、ポンプ等でドラム、タンク又はローリーにできるだけ回収する。 ・ 回収できない残分は、塩酸、硫酸等で中和する。 ・ コンクリートの表面強化等、正規の使用方法では問題ありません。 ・ 河川・湖沼へ流出した場合は、必要に応じ、消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協などに連絡する。 			
取扱いおよび保管上の注意	取扱い	： 吸い込んだり、眼、皮膚、衣類などに触れない様に適切な保護具を着用する。		
	保管	<ul style="list-style-type: none"> ： 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。 ： 容器を転倒、落下、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。 ： 容器は直射日光を避け、日陰の乾燥した場所に保管する。直射日光に長時間晒されると珪酸塩を吹き出すことがある。 ： アルミニウム、亜鉛、錫、鉛等の両性金属とは接触させない。また、濃厚な酸を加えてはならない。 ： 0℃以下では固化することがある。この場合、加熱すると元に戻る。 ： ステンレスもしくはポリエチレンの容器を使用する。 		
暴露防止措置	管理濃度	： なし		
	許容濃度	日本産業衛生学会（94年度版）：記載なし ACGIH（94～95年度版）：記載なし		
	設備対策	： 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を必要に応じて設置する。		
	防護具	： 保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴等を使用する。		
物理／化学的性質	外観	： 無色ないしわずかに着色した粘性のある液体		
	沸点	： 100～105℃	凝固点	： 0℃以下
	密度	： 1.28 (g/cm ³)	pH	： 11～13
	溶解性	： 水に対して任意に溶解する。		
危険性情報	引火点（℃）	： なし	発火点（℃）	： なし
	爆発限界	： なし	可燃性	： なし
	安全性・反応性	： 無機酸・有機酸と反応してゲルを生成する。重金属アリカリ土類金属の各塩は珪酸塩に作用して、金属珪酸塩の水和物の沈殿を生じる。		

有害性情報	急性毒性	: 経口LD50
		ラット 1,280mg/kg
		1,600mg/kg
		マウス 1,100mg/kg
		ウサギ 1,100mg/kg
	亜急性毒性、慢性毒性、変異原性、生殖毒性、催奇形性は知見なし。	
	刺激性	: アルカリ性を示し、皮膚や粘膜を刺激する。
	感作性	: 知見なし

環境影響情報	分解性	: 知見なし
	蓄毒性	: 知見なし
	魚毒性	: 以下のTlm値の報告がある。

水中生物種	実験方法	濃度 (mg/L)	時間 (hr)
Carbsia Affinis (淡海)	静的生物検定 (急性)	2,400	48
Amphipoda	静的生物検定 (急性)	895	24
		263	48
		160	96
Daphnia magna (無脊椎)		247	96
Lynmaes sp (卵)		630	24~96

注) Tlm (Median Tolerance Limit) 供試魚の50%が致死する濃度

廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水で希釈後、塩酸、硫酸等で中和し、沈殿物をろ過する。 ・ 廃棄の場合は、「廃棄物処理法」「水質汚染防止法」等関連法令を遵守し、適切な産業廃棄物処理業者に委託する。
--------	--

輸送上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運搬はローリー車、又は密閉容器で輸送する。温度が下がる場合には、保温又は断熱する。 ・ 輸送の際は、容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下等による損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
--------	--

適用法令	海洋汚染および海上火災の防止に関する法律	: C類物質
	労働安全衛生法	: 該当しない
	消防法	: 該当しない
	毒物及び劇物取締法	: 該当しない
	輸送関連法規 (航空機)	: 該当しない
	PRTTR法、労働安全衛生法通知物質	: 該当物質なし

その他	記載内容の問い合わせ先	: 日本躯体処理株式会社
		TEL 03-5798-7561
	危険・有害の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。	

「引用文献等」

1. (社)日本化学工業協会の製品安全データシート作成指針による分類基準
 2. 「産業医学 36巻」 p 236～288 1994年 日本産業衛生学会
 3. 「ACGHI」Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices 1994-1995
 4. 「産業中毒便覧」増補版 1992年
 5. 「NIOSH」Registry of Toxic Effects Chemical Substances 1982-1983
 6. 「既存化学物質データ便覧」1974年 海外技術資料研究所
「危険物・毒物処理扱いマニュアル」1974年 海外技術資料研究所
 7. 「魚類と水中生物に及ぼす化学品の毒性データ」1973年 インダストリアルデータセンター
 8. 東洋珪酸曹達株式会社「けい酸ナトリウム」MSDS 平成13年10月15日作成
-